【実践事例 7】　　１０食育―５８　ニュース　No.４６５

「世界の栄養問題を考えよう！」

総合（食育・キャリア）　道徳　社会　家庭

- 実施日　　令和５年１月２１日（土）８：３０～１１：１０
- 実施校　　墨田区立押上小学校　３年１組～３組　計 66 名
- 講　師　　特定非営利活動法人　栄養不良対策行動ネットワーク（NAM）
- 内　容　　① 栄養問題について考える　SDGs２，３項番の学習
  ② 栄養不良の子どもの状況を理解する（VTR）
  ③ 栄養不良に関するクイズ３問（人数、食品ロス、栄養不良の子ども）
  ④ 体験：「いのちのテープ」を利用し、栄養不良の子どもの見つけ方を知る
  ⑤ なぜ、栄養不良が起こってしまうのか考える。（食べ物、水、知らない/栄養素等）
  ⑥ 栄養不良を救うための活動（NAM 活動/ウガンダ、その他）
  ⑦ 自分ができることを考え、発表する（グループワーク）

《担当の先生から》

事前打ち合わせで、どのような内容で授業を進めていくか、とても丁寧に説明していただきました。授業では、３年生でも分かるような言葉で、世界のどの辺りでどのようなことが問題になっているか教えてくださいました。途中、命のテープを実際に使うことができたことも良かったです。命のテープで、世界には、腕がこんなに細い子がいるということにびっくりしていました。

自分たちにできることを考えた後、早速実践したことを報告してくれた児童もいました。ちょうど翌週の生活目標が「給食を残さず感謝して食べよう」なので、まずは食品ロスを減らすことができるよう意識している児童が多くいました。

オンラインではなく、押上小学校にご来校いただき、対面で授業していただき、児童にもより伝わったと思います。土曜日にかかわらず、引き受けていただき、ありがとうございました。

《講師から》

押上小の子どもたちが、難しい内容にもかかわらず熱心に話をきき、自分たちの考えを発表してくれ、とてもやりがいを感じる授業でした。

子どもたちの発想はとても柔らかく、私たち自身、大変勉強になりました。